

# ふねにのっていこう

## ボートやのくまさん (E ウ)



フィービ・ウォージントン／さく・え

こみや ゆう／やく 福音館書店

ボートやのくまさんは、ボートのいえを

1 そうもっていて、にもつをはこぶしごとをしています。そんなくまさんの1日を見てみましょう。ボートのやねの上でごはんをたべ、ボートをうごかすようすにわくわくします。

## チムとゆうかなせんちょうさん (E ア)

エドワード・アーディゾーニ／さく

せた ていじ／やく 福音館書店



ふなのりになりたい男の子のチムはある日大きなふねにのりこみ、そこではたらくことになりました。チムはふねになじみ、せんいん

たちともなかよくなりますが、ある時あらしがきて、せんちょうとともにふねにとりのこされてしまいます…。せんさいなタッチのさし絵もすばらしい、チムシリーズの1冊目。

## ふねにのったねこのヘンリー (E イ)

メリー・カルホーン／文, エリック・イングラ

ハム／絵, 猪熊 葉子／訳 リブリオ出版

ねこのヘンリーは、お父さんと男の子がヨットにのるところを見て自分ものってみたいくなり、こっそりヨットにしるのびこみます。お父さんはヘンリーがいることをあまりよく思っていないのですが、ヘンリーははじめてのうみを楽しみます。ところが、天気が変わったのでかえろうとしたとき、お父さんが足をすべらせてヨットからおちてしまいます…。

## ちいさいヨット (E レ)

ロイス・レンスキー／ぶん・え

わたなべ しげお／やく 福音館書店

せんちょうのスマールさんは、あるおてんきの日、こいぬをつれてヨットにのりこみました。魚をつりに行くのです。ほをあげたり、方向をかえたりといったヨットならではのうごきが、わかりやすくえがかれています。

## ガンピーさんのふなあそび (E バ)

ジョン・バーニンガム／さく

みつよし なつや／やく ほるぶ出版

ガンピーさんがふねにのってでかいていると、子どもたちが「いっしょにつれてって」と言いました。ガンピーさんは、けんかしなければいいよ、と言ったのでせてあげます。そのあと、いろいろなどうぶつたちがやっきては、ガンピーさんとよくそくをしてのりこみますが…。くりかえしが楽しい1冊。



## ノアの箱舟 (E ツ)

リスベート・ツヴェルガー／絵

ハインツ・ヤーニッシュ／文

いけだ かよこ／訳 BL出版

むかし、神は人をほろぼすために大あめをふらせることにしますが、心の正しいノアとそのかぞくはたすけることにします。そして神はノアに、大きなふねをつくり、そこにあらゆる生きもののオスとメスを1匹ずつのせるように言います。せいしよのはなしをもとにした絵本。

## たぐぼーとのいちにち (E ヤ)

こかい えいじ / やなぎはら りょうへい / ふくいんかんしよてん  
小海 永二／作, 柳原 良平／画 福音館書店

たぐぼーとは、ふねをひっぱるふねのことです。みなとでは、たぐぼーとがとおくのかもつせんへにもつをとりに行ったり、古いふねをはこんだりと休みなくはたらいています。たぐぼーとをはじめ、いろいろなふねが出入りするみなとのようなすがすがしい絵本です。

## ベンジーのふねのたび (E ケ)

マーガレット・ブロイ・グレアム／

さく・え, わたなべ しげお／やく

福音館書店



犬のベンジーは、かぞくが自分をおいてふねで出かけてしまったのがっかり。そこで、みなとにとまっていたふねにのりこみますが、それはかぞくがのったものとはちがうふねでした。さて、ベンジーはまたかぞくと会えるのでしょうか？



## ビーチサンダル号海へ! (E ム)

L. R. ロッディング, D. パバリー／文

M. M. ムワンギ／絵, 千葉 茂樹／訳

あすなる書房

アフリカに住むジュマは、うみべにたくさんビーチサンダルがうちあげられているのを見て、プラスチックゴミでふねをつくることを思いつきます。みんなでゴミをたくさんひろい、プラスチックをとかしてかためると…。じっさいにあったできごとをもとにしたおはなしで、ビーチサンダル号の写真ものっています。